



★今月のテーマは「**伝染病に気を付けよう!**」です。

新年を迎え、元気いっぱい登園してきた子ども達ですが、年末年始休みの疲れが出てくる1月の中旬ごろになってくると、体調を崩して休む子どもがちらほらと…。また、インフルエンザA型が大流行し、沖縄県全域に注意報・警報が発令されるほど、猛威をふるっています。そこで今回は、先ほども上げたインフルエンザの特徴・予防法のほか、この時期に流行する主な感染症とその予防法を紹介したいと思います!

インフルエンザ

急に**来る寒気**や**ダルさ**、**長期間続く高熱**それに伴い**関節など節々の痛み**が特徴です。また、感染力が強い為予防接種を受けた人でもかかる場合があり、その場合は風邪程度の熱しか出ず、気づきにくく日常生活を送っていくと他の人に移してしまう事もありますので、少しでも熱がある・周りにインフルエンザにかかった子が居るなどと言った場合は、病院受診をお勧めします。

RSウイルス感染症

乳幼児のほとんどの子がかかると言われているほど、感染力が強いウイルスです。**38度以上の高熱・ゼーゼーした呼吸**と言った風邪と似たような症状ではありますが、風邪と違いあまり気にしていないと、重い肺炎になって入院! などとなりかねないので、赤ちゃんにこのような症状が出たら、出来るだけ早めの受診をお勧めします。

溶連菌感染症

発熱(38度台)・**のどの痛み**があり風邪と同じ症状ですが、一番の特徴は**全身やペロに小さく赤い発疹**がでる事です。なのでこの時期の**のどの痛み**を訴えてきたら**全身と舌**を見てあげて下さい。



感染症の感染経路と予防法

感染症のウイルス等は主に、感染者のくしゃみ・咳などから外に出てそれが他の人の鼻や口に侵入し移る「**飛沫(空気)感染**」、また感染者が居た場所・使ったティッシュ・タオルなど触れた事で移る「**接触感染**」の2つの経路で広がっていくと言われていたりますが、そのどちらも基本的には「**手洗い・うがい・マスク**」で防げると言われています。また、人が沢山いる所には必要最低限行かないなど、自分・家族の身を守るためにも、心がけて行動しましょう!

